どんな業務も私の糧に

“未経験”を言い訳にしない“任せられる人材”へ

保持資格

- AWS Certified Cloud Practitioner FOUNDATIONAL
- AWS Certified Solutions Architect ASSOCIATE

NEXT

- Linux Professional Institute LPIC-1 LINUX ADMINISTRATOR
- AWS Certified SysOps Administrator ASSOCIATE
- AWS Certified AI Practitioner FOUNDATIONAL

構築例①【課題解決型】
飲食店向け食べログ風Web サービス構築
～ IaC(Terraform)による AWSクラウド設計・実装 ～

・顧客向けクラウド提案資料
・AWS構成図作成
・terraformコード作成(IaC)
・AWSインフラ構築
・CI/CDパイプライン構築
・運用テスト/障害確認

Please CHECK!

構築例②ブログサービス構築

次の要件を想定しAWSインフラを構築しました。
CloudFormationは、冗長化・スケーラビリティを含む基盤構成に限定して使用し、ドメイン設定や運用関連の設定は手動で行っています。

＜要件＞
・単一障害/アクセス増減に対応した安定的な運用構築
・独自ドメイン設定
・HTTPS通信(暗号化された安全な通信)
・障害時のSORRYページ表示
・ログ監視が可能

＜AWSサービススキルマップ＞

要件 / 構成	VPC	EC2	ALB	Auto Scaling	Route53	CloudFront	ACM	S3	CloudWatch	CloudFormation
冗長構成	●	●	●	●		●				●
スケーラビリティ構成		●	●	●					●	●
ログ監視		●	●						●	
独自ドメイン設定					●	●				
障害時SORRYページ表示						●		●		
HTTPS通信構成			●			●	●			

※ 権限設定には IAM を使用し、CloudFormationによるEC2のログ出力、運用管理のための最小権限設計を考慮しました。

知識を”使える力”に

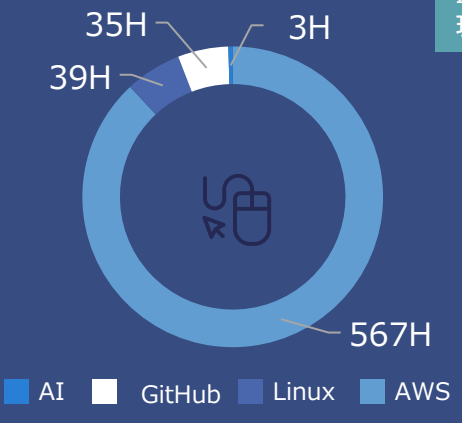
1つの構築に対して複数の方法が存在するAWSだからこそ、教材のデモンストレーションをなぞるだけでなく、別の手段で同じ構成を再現することに挑戦しました。

試行を重ねる中で、「この構成は●●（他サービス）でも実現できるのでは？」と手段の引き出しを少しずつ増やしていく感覚を得ました。

一方で、エラー解決に集中するあまり長時間費やしてしまうこともあり、自主性を保ちながらも**適切なタイミングで相談する重要性**を学びました。

勉強時間

2025/12/17 現在



docker

＜スキルマップ＞

マルチステージビルド手法
ステージの定義（テスト環境／本番実行環境の分離）
ビルドステージの実行と成果物の最適化
キャッシュ活用によるビルド負担の軽減
.dockerignore による不要ファイル除外と軽量化
docker-compose による複数コンテナの構成・起動管理

構造理解に苦戦するも
トライ＆エラーの繰り返しにより
調べ方を柔軟に変化させるきっかけに。

簡単な略歴

1988 兵庫県出身
2009 教育業界就職

2013 結婚
2014 第一子出産

2014 富山県に転勤
2014 医薬品業界就職
2016 第二子出産
～2人とも産後3ヵ月から フルタイムで駆け抜けました！～
2025 7月退職
インフラエンジニア目指して 学習開始

GitHub 開発者用プラットフォーム

＜スキルマップ＞

ローカルリポジトリの操作	習得方法
リポジトリの作成・コミットによる履歴登録（git init, git commit）	●
ステージングエリアへの登録（git add）	●
変更内容の取り消し・復元（git restore, git reset）	●
変更履歴の確認（git log）	●
ブランチの作成・切り替え・統合（git branch, git switch, git merge）	●
リモートリポジトリの操作	**習得方法**
GitHub上でのリポジトリ管理と連携設定	●
リポジトリの取得・送信・統合操作（git clone, git push, git pull）	●
GitHub Copilotの活用	**習得方法**
Visual Studio Code上でのコード補完・提案機能の活用	○
GitHubオンライン環境でのCopilot利用・コードレビュー支援	○

習得方法(● ：スクール、独学：○) カリキュラム外自由受講講座を活用